

【プログラム参加者の感想】

水の印象の変化

- ・以前は、水なんてただ蛇口をひねれば出てくる物だと思っていたが、実際このプログラムを通して水は蛇口をひねって出てくる前に沢山の過程を通過して出てくることが分かった（中学生）
- ・地球全体での水を少しイメージできるようになった。海、山、人体の水はひとつのシステムの中に存在するというイメージを持った。（高校生）
- ・普段普通に使っている水も実はとても不思議なものなんだと思うようになった。（中学生）
- ・世界の水問題について知ったことで、水は限りある大切なものだと感じ、節水するようになった。（同様回答複数）

展示制作で苦労したこと、頑張ったこと

- ・見学者に分かりやすく、興味を持ってもらえるような展示を制作することにこだわった。（同様回答複数）
- ・ひとりではなく、グループとして目標を成し遂げることの難しさを知った（高校生）
- ・展示に耐久性を持たせることが苦労した。（同様回答複数）
- ・展示制作中、寸法がアバウトだったので修正に苦労した。（中学生）
- ・なかなか班員全員で集まれなかったことに苦労した。（中学生）

展示解説（ギャラリートーク）で苦労したこと、頑張ったこと

- ・来館者に「いかに分かりやすく伝えるか」を達成できるように話すのが大変だった。（同様回答複数）
- ・型にはまった発表になってしまって少し悔しかった（中学生）
- ・ユーモアを盛り込んで解説した。（中学生）
- ・人前で論理的に話すことが苦手だったが、3日間のギャラリートークの準備を通じて、話し方、論理の組み立てなど多くを学んだ。（高校生）
- ・うまく話すのが苦手だったので家で練習した。（中学生）
- ・分かりやすいように、図や差し棒、役割分担を工夫した（高校生）

全体感想

- ・個性豊かな仲間達と一緒に5ヶ月間活動ができて本当に楽しかった。（同様回答複数）
- ・小さい頃から国立科学博物館に何度も通っていたが、今回、見学者の立場から展示制作者へと成長することができた。これから、自分の問題意識である「環境倫理」や「持続可能社会」について「水」から考えていきたい。（高校生）
- ・展示制作でとても時間がかかったが、普段使うことのない素材を使って展示を作るのが一番楽しかった。（中学生）
- ・展示の制作期間が短く、丁寧にやりつつ速度も求められハードだった（中学生）

- ・専門的なことをずっと聞かされると思っていたが、楽しく学ばせてもらうことができた。(中学生)
- ・学校の行事と合わせて活動に参加することが大変だったが、展示づくりも、先生の話も、そして友達ができただけでも楽しくて活動に参加して良かった。(中学生)

【展示見学・展示解説参加者からのコメント】

- ・水の大切さを思い知らされた感じです。私たち大人がもっともっと水の大切さを早くから子ども達に教えなければいけなかったのではと思いました。子ども達がこんなに一生懸命真面目に勉強していることに感心と感謝を致します。
- ・初回の展示発表にも来ましたが、ギャラリートークは初回に比べて目をみはるほど分かりやすく、聞きやすくなっていました。(同様回答複数)
- ・とても良い企画だと思います。知らない人達が集まり意見をまとめ、発表に向けひとつのものを作り上げていく事は大変意義のあることだと思いました。今後の企画にも期待しています。

- ・大学生、博物館、子ども達の交流によって、自分たちの力で何かを調べ、造り上げる力や自身が子ども達に自身に身についたと思います。ご協力ご支援ありがとうございました。(プログラム参加者の保護者)
- ・「学ぶ」「まとめる」「伝える(表現する)」の一連の流れを手厚くサポートいただき、体験できる良いプログラムでした。大変感謝しております。これをエントリーコースとして発展型もあれば参加させていただきたいです。(プログラム参加者の保護者)